

政策提案と公開質問 回答一覧

選挙区	市町村と定数	氏名	公開質問と回答			
			質問① 放射能汚染土の公共工事での使用	質問② 放射能汚染防止法の制定が必要か	質問③ 原発再稼動についての考え	質問④ エネルギー基本計画の見直し、自然エネルギーによる電力の脱原発、脱炭素化を実現することについて
南第1区	草加市 3	平野 厚子	反対	賛成	反対	賛成
南第2区	川口市 7	村岡 正嗣	反対	賛成	反対	賛成
南第4区	北区 2	高木 真理	反対	賛成	反対	賛成
南第6区	見沼区 2	井上 将勝	反対	賛成	反対	賛成
南第8区	桜区 1	小高 真由美	反対	賛成	反対	その他 基本計画の見直し、脱原発、脱炭素化など基本的に賛成ですが、自然エネルギーの推進にビジネスとして参入し、逆に環境汚染を引き起こしている事例もあるようなのでその点は注意が必要だと思う。
南第9区	浦和区 2	浅野目 義英	反対	賛成	反対	賛成
南第10区	南区 2	守谷 千津子	反対	賛成	反対	賛成

政策提案と公開質問 回答一覧

選挙区	市町村と定数	氏名	公開質問と回答			
			質問① 放射能汚染土の公共工事での使用	質問② 放射能汚染防止法の制定が必要か	質問③ 原発再稼働についての考え	質問④ エネルギー基本計画の見直し、自然エネルギーによる電力の脱原発、脱炭素化を実現することについて
南第13区	上尾市、伊奈町 3	秋山 もえ	<p>反対 2016年6月に、環境基本法13条が削除され放射性物質は公害原因物質になったにも関わらず、法規制体系が未整備のため、放射能には総量規制や罰則がなく、公共工事で使用するというような拡散ができてしまいます。公共工事における不使用を求めます。</p>	<p>賛成 放射能汚染から身を守るための法律を制定し、環境規制を策定し、放射能汚染から環境、人、食料を守り、放射性廃棄物の管理や排出責任者まで盛り込んだ「放射能汚染防止法」の制定が必要と考えます。</p>	<p>反対 原子力発電所の再稼働に反対することを求めます。2011年3月11日の東日本大震災から8年たった今でも、故郷を追われ暮らしている方は5万人、埼玉県内にも福島第一原発事故を受けて移り住む人が4000人を超えともいわれています。</p> <p>高レベル放射性廃棄物の最終処分について、全く目処がたたないなかで、再稼働に伴う放射性廃棄物の発生にたいして、将来の世代に負担を先送りしない取り組みが必要と考えます。原子力発電も核兵器も人類と共存できません。子どもたちの未来のために、再生可能エネルギーへの転換をはかるべきです。</p>	<p>賛成 2030年、2050年にむけたエネルギー基本計画を見直し、自然エネルギーによる電力の脱原発、脱炭素化を実現することを求めます。</p> <p>省エネによるエネルギー消費量を減らし、原子力発電と石炭火力を段階的に廃止し、自然エネルギーの拡大をすすめていくことが重要と考えます。2030年のエネルギー基本計画の見直しを求めます。</p>
南第15区	北本市 1	平尾 良雄	反対	賛成	反対	賛成
南第16区	鴻巣市 1	並木 正年	<p>その他 汚染土については基本的には集中管理が望ましいと考えております。一方で、汚染土が増え続ける状況にも鑑み、厳しい基準を設けて地表で触れることのない工事に限り公共事業で使用する等は、最終処分廃棄物の削減にも繋がるため、検討の余地があると考えます。</p> <p>但し、地表近くの工事箇所や、公園や子供が多く利用する箇所への使用は厳に慎み、且つ公共事業への使用を可とすることを契機に、農業や園芸用土壌にまで使用が解禁されることがないように慎重な対応が必要と考えます。</p>	賛成	態度保留	賛成

政策提案と公開質問 回答一覧

選挙区	市町村と定数	氏名	公開質問と回答			
			質問① 放射能汚染土の公共工事での使用	質問② 放射能汚染防止法の制定が必要か	質問③ 原発再稼働についての考え	質問④ エネルギー基本計画の見直し、自然エネルギーによる電力の脱原発、脱炭素化を実現することについて
南第18区	新座市 2	工藤 薫	反対	賛成	反対	賛成
南第21区	朝霞市 2	松下 昌代	反対	その他 原発は経済成長を支えるため、国を挙げて推進してきた経緯があり、事故が起きたときに事業会社だけが悪いというのいかにがなものかと考えます。脱原発に向けた段階と併せての段階的な法整備が必要と考えます。	その他 再稼働については、できることならしないのが理想ですが、そのための国民の負担も大きくかつ、現状その不足分を火力発電に頼っており、CO2排出量増大の問題があることも現実です。国民投票のような形で民意を聞くことも必要だと感じます。	その他 自然エネルギーですべてをまかなうことができるようにするのが理想だと思いますが、そのためのコストを国民が負担するという点に対して民意を聞く必要があると思います。また、メガソーラーも長い目で見れば大量の産業廃棄物となりますし、日本の国土を活かすのならば、地熱発電をもっと進めていくことが脱原発につながると思います。また、蓄電池の更なる技術革新や低コスト化を国を挙げてすすめていく必要性を感じます。
		醍醐 清	その他 汚染土については基本的には集中管理が望ましいと考えております。一方で、汚染土が増え続ける状況にも鑑み、厳しい基準を設けて地表で触れることのない工事に限り公共事業で使用する等は、最終処分廃棄物の削減にも繋がるため、検討の余地があると考えます。但し、地表近くの工事箇所や、公園や子供が多く利用する箇所への使用は厳に慎み、且つ公共事業への使用を可とすることを契機に、農業や園芸用土壌にまで使用が解禁されないよう慎重な対応が必要と考えます。	賛成	態度保留	賛成

政策提案と公開質問 回答一覧

選挙区	市町村と定数	氏名	公開質問と回答			
			質問① 放射能汚染土の公共工事での使用	質問② 放射能汚染防止法の制定が必要か	質問③ 原発再稼動についての考え	質問④ エネルギー基本計画の見直し、自然エネルギーによる電力の脱原発、脱炭素化を実現することについて
南第22区	和光市 1	井上 航	<p>その他 汚染土については基本的には集中管理が望ましいと考えております。一方で、汚染土が増え続ける状況にも鑑み、厳しい基準を設けて地表で触れることのない工事に限り公共事業で使用する等は、最終処分廃棄物の削減にも繋がるため、検討の余地があると考えます。但し、地表近くの工事箇所や、公園や子供が多く利用する箇所への使用は厳に慎み、且つ公共事業への使用を可とすることを契機に、農業や園芸用土壌にまで使用が解禁されないよう慎重な対応が必要と考えます。</p>	賛成	態度保留	賛成
西第1区	所沢市 4	柳下 礼子	反対	賛成	反対	賛成
西第4区	狭山市 2	やばせ 一郎	反対	賛成	反対	賛成
		中川 浩	反対	賛成	反対	賛成 自然エネルギーの推進に向け頑張りましょう！
西第5区	ふじみ野市 三芳町 2	前原 かつえ	反対	賛成	反対	賛成
西第7区	川越市 4	もりや ひろ子	反対	賛成	反対	賛成

政策提案と公開質問 回答一覧

選挙区	市町村と定数	氏名	公開質問と回答			
			質問① 放射能汚染土の公共工事での使用	質問② 放射能汚染防止法の制定が必要か	質問③ 原発再稼働についての考え	質問④ エネルギー基本計画の見直し、自然エネルギーによる電力の脱原発、脱炭素化を実現することについて
西第8区	日高市 1	平井 久美子	<p>反対 放射能汚染土を公共工事に使用することは絶対反対です。そもそも基準値もどンドン都合よく変えて、安全とはいえない難しいものです。</p>	<p>賛成 当然、放射能汚染防止法等を早急に制定する必要があります。被災地だけではなく、日本中が汚染されています。一刻も早く取組むべきと考えます。</p>	<p>反対 原発再稼働には大反対です。そもそも今回の立候補の一番の動機は、県議会が平成29年12月に採択した「原子力発電所の再稼働を求める意見書」採択に大きな怒りを感じたことからです。県議会は、住民の声をきくべきです。</p>	<p>賛成 国が持続可能な自然エネルギー政策に切り替えることが急務です。原子力発電はエネルギー政策ではなく、軍事政策であると思っています。脱原発とクリーンなエネルギーを自然破壊することなく推進するためにこそ税金を投入すべきで、オスプレイやイージスシヨア等の武装は放棄するべきです。未来の子どもたちに負の遺産を残したくはありません。</p>
北第4区	深谷、美里、寄居 3	清水 修	<p>反対 公共事業で使用された場合、近年多発する豪雨災害による土砂の大量流出や、通常の雨水による経年流出、地下浸透による拡散、再濃縮は防ぎようがないと考えます。使用させてはならないと考えます。</p>	<p>賛成 質問①の事案のような無制限、無管理な拡散を防止する意味で、法制化による厳重な管理体制を構築することは、国民生活の安全確保、環境保全の立場から必要と考えます。</p>	<p>反対 政府が示した再稼働判断新基準は、炉心溶融などの重大事故への対策は部分的で実効策（コアキャッチャーの設置等）がありません。活断層があっても表面に出ていなければ原発を建てて良い、とする等ずさんなもので、巨大火山噴火に対しても学者が予知不能と指摘しているのに、予知できると詭弁しています。また、事故発生時の避難対策も自治体任せで、実効性のあるものになっていません。原発稼働で発生するプルトニウム等、核廃棄物の再生、廃棄に全く目処が立たない中での再稼働は無責任で許容できないものと考えます。</p>	<p>賛成 原発ゼロの決断、再生エネルギーへの転換計画の拡大を図るべきです。少なくとも2030年までにエネルギーの30%（2015年14%）を再生可能エネルギーでまかなう計画を策定し推進すべきと考えます。2050年までには再生可能エネルギーの幅を広げ、脱原発・脱炭素化を徹底していくべきと考えます。脱炭素化、再生可能エネルギーへの転換は地球温暖化対策のうえでも、今すぐ取り組むべき政策です。但し、乱開発による環境悪化、住民の健康・安全確保を図る規制が必要です。</p>

政策提案と公開質問 回答一覧

選挙区	市町村と定数	氏名	公開質問と回答			
			質問① 放射能汚染土の公共工事での使用	質問② 放射能汚染防止法の制定が必要か	質問③ 原発再稼動についての考え	質問④ エネルギー基本計画の見直し、自然エネルギーによる電力の脱原発、脱炭素化を実現することについて
東第4区	久喜市 2	石川 忠義	<p>その他 汚染土については基本的には集中管理が望ましいと考えております。一方で、汚染土が増え続ける状況にも鑑み、厳しい基準を設けて地表で触れることのない工事に限り公共事業で使用するため、検討の余地があると考えます。但し、地表近くの工事箇所や、公園や子供が多く利用する箇所への使用は厳に慎み、且つ公共事業への使用を可とすることを契機に、農業や園芸用土壌にまで使用が解禁されることがないよう慎重な対応が必要と考えます。</p>	賛成	態度保留	賛成
東第6区	白岡、宮代 1	岡 重夫	<p>その他 汚染土については基本的には集中管理が望ましいと考えております。一方で、汚染土が増え続ける状況にも鑑み、厳しい基準を設けて地表で触れることのない工事に限り公共事業で使用するため、検討の余地があると考えます。但し、地表近くの工事箇所や、公園や子供が多く利用する箇所への使用は厳に慎み、且つ公共事業への使用を可とすることを契機に、農業や園芸用土壌にまで使用が解禁されることがないよう慎重な対応が必要と考えます。</p>	賛成	態度保留	賛成
東第7区	春日部市 3	秋山 文和	反対	賛成	反対	賛成

政策提案と公開質問 回答一覧

選挙区	市町村と定数	氏名	公開質問と回答			
			質問① 放射能汚染土の公共工事での使用	質問② 放射能汚染防止法の制定が必要か	質問③ 原発再稼動についての考え	質問④ エネルギー基本計画の見直し、自然エネルギーによる電力の脱原発、脱炭素化を実現することについて
東第8区	越谷市 4	山本 正乃	反対	賛成	反対	賛成
		金子 正江	反対	賛成	反対	賛成
		辻 浩司	<p>反対 無害化ができない放射性物質の管理は、できるだけ一か所に集めて影響が低減するまでの期間、厳重に監視する「集中・保管」が原則ですが、除染土の公共工事の利用はその原則の逆の行為であり、薄めてばらまく「希釈・拡散」には反対です。</p>	<p>賛成 土壌や水質、大気と同様に放射性物質による汚染を法的に規制する法整備が必要と考えます。放射性物質による汚染をした事業者には罰則を科すべきであり、現在の東京電力の事故のように、事業者の側が、賠償額を決定していくくみは強い違和感を感じ、法整備の必要性を感じます。</p>	<p>反対 福島の事故以前は、「原発がないと停電が起きる」と言われていましたが、現在、電力供給量でいえば、原発を稼働しなくても十分、日本の電力は賄える現状にあり、猛暑の昨夏でさえも、節電要請は必要ないレベルでの需給バランスとなっています。</p> <p>また、「原発は安い」という経済性のメリットも全く根拠がありません。安全対策などの設備投資、廃炉のための費用や何万年レベルでの保管が必要な廃棄物の保管費用、事故時の補償費用、過酷事故が起きた際の環境影響、などの費用を試算すれば膨大な金額になることは誰でもわかることだと考えます。</p>	<p>賛成 欧州のように再生可能エネルギーの分野で市場を拓げ、安全性・経済性を両立させていく戦略が必要であり、原発にしがみついた現在の日本の政策は将来的に様々な意味で、国際的に後れを取ることになると考えます。送電網も含めて、完全自由化をし、再エネ事業者の参入を後押しすべきと考えます。市民出資による小規模事業者も含めて、多様な担い手を育成すべきと考えます。原発はCO2を出さない、という主張も根拠がありません。原発の建設や廃炉まで含めたトータルで見れば、膨大なCO2を排出するものであり、その意味からも再エネや他の電源と比較して原発に優位性はありません。もちろん、火力発電は、CO2排出や大気汚染の問題、原油調達の不安定性などの課題があり、その比率を下げていく必要があります。石炭火力は環境への影響が大きく、使用は避けるべきと考えます。</p>

政策提案と公開質問 回答一覧

選挙区	市町村と定数	氏名	公開質問と回答			
			質問① 放射能汚染土の公共工事での使用	質問② 放射能汚染防止法の制定が必要か	質問③ 原発再稼動についての考え	質問④ エネルギー基本計画の見直し、自然エネルギーによる電力の脱原発、脱炭素化を実現することについて
東第10区	三郷市 2	苗村 京子	<p>反対 公共工事での使用は、危険な放射能汚染土を拡散する危険性があります。危険な汚染土の使用については反対します。</p>	<p>賛成 党としてもわたくし個人でも賛成をいたします。</p>	<p>反対 わたくしの住む三郷市では、福島第一原発の事故により、放射能汚染の高いホットスポットとなりました。原発はひとたび事故が起きれば、取り返しがつきません。断固として反対します。</p>	<p>賛成 自然エネルギーへの転換をすすめることが、大変重要と考えます。</p>